

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

29) 木とその実について

マタイ 7:15-20

2019.10.6 HKJCF

1

概観

大きい門と狭い門の存在をはっきりと示してくれる
本物の預言者と、良い実を結ぶ重要性について学びたい。

アウトライン

- | | |
|----------------|--------|
| 1. 偽預言者について | V15 |
| 2. 識別力について | V16-18 |
| 3. 実を結ばない木について | V19-20 |

2

1. 偽預言者について V15

- 1) 気をつける：絶えず注意を払う必要がある。
どんな時代でも偽物が存在する。
- 2) 偽預言者：バビロンによる攻撃を否定（エレミヤ 27:8-11）；禁欲主義者（Iテモテ 4:1-3）；異端（IIペテロ 2:1）⇒福音理解の重要性。
- 3) 羊のなり：神の言葉を用いて羊の群れを養う
振舞い→心、内面、品性を見るように。
- 4) 貪欲な狼：自分のほうに引き込む（使徒 20:29-31）
→神様を中心としない。

3

2. 識別力について V16-18

- 1) 実によって見分ける：歩み、品性、生活；
教理と生活を切り離してはならない；木と実を分離しない。サウルの例（Iサムエル 19:24）。
- 2) 十字架体験と生まれ変わり：罪意識の芽生えと悔い改め→霊的なものへの興味。
- 3) 神と聖書の権威：神様に対する良い畏れ；
大きい門と広い道を警戒し嫌う生き方。
- 4) 他人を評価すること：裁くことではない；
基準＝最後まで貫くか？何を生み出すか？

4

3. 実を結ばない木について V19-20

- 1) 救いの完成：恐れおののく従順さ（ピリピ 2:12）；御国に入っただけではなく、過去からの変化が見られるのか？
- 2) 行いが伴う信仰：隣人を愛しているか？（ガラテヤ 5:14）；救いをもたらす信仰（ヤコブ 2:14）。
- 3) 実を結ぶ重要性：庭師が存在し、働いている証拠；通行人の食糧となる役割。
- 4) 切り倒され、火に投げ込まれる：終末における神の裁き→警告を真剣に受け止める。

5

適用

①福音によって自分と他人を評価するように：
福音理解が前進するように、神と聖書の権威の下に自分を置いて、お互いの成長のために他人のことも、へりくだって評価するように。

②良い実を結ぶことを意識するように：

自分の人生にイエス様という庭師の存在を証するように、結ばれた良い実が周囲の祝福となるように。

6